

＊CONTENTS

- 02 令和2年度当初予算
- 04 桜川市職員の人事異動／寄付寄贈
- 07 まちの話
- 08 桜川市の公共交通を知る
- 09 歴史資料館だよりNo.82
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 新型コロナウイルス感染症 Q&A

＊表紙

公共交通に新たな選択肢
ヤマザクラ GO ミニ



4月1日、桜川市の第3の公共交通である桜川市内巡回ワゴン「ヤマザクラGOミニ」が運行を開始しました。

写真は、満開の桜の中を走り抜けるワゴンを撮影したものです。

ますます便利になった桜川市の公共交通をぜひご利用ください。

＊桜川市の人口と世帯

【人口】 39,280人 (－179)
【男】 19,454人 (－110)
【女】 19,826人 (－69)
【世帯】 13,714世帯 (－18)
()は対前月増減
常住人口
令和2年4月1日現在

令和2年度 当初予算

総額 317億3,626万5千円
一般会計 184億4,000万円

市民1人(二世帯) 当たりはこんな金額

■市民の皆さんが負担する税を1人(一世帯) 当たり換算すると
11万8,399円(33万9,122円)
■市政に使われるお金を1人(一世帯) 当たり換算すると
46万9,450円(134万4,611円)

※人口／39,280人
世帯／13,714世帯
(令和2年4月1日現在)

令和2年度 一般会計主要事業の予算

ハード事業

(建物の建設・修繕、道路整備など工事をする事業)

土木費▶上曽トンネル整備事業…9億6,792万円、通学路整備事業…4億2,900万円、道路新設改良事業…1億31万円

総務費▶桜川筑西IC周辺地区開発整備事業…4億4,398万4千円

衛生費▶県西総合病院解体事業…3億6,078万2千円

農林水産費▶ため池整備事業…1億7,010万円

ソフト事業

(ハード事業以外の事業)

民生費▶障害者福祉事業…10億5,525万5千円、子どものための教育・保育給付事業…6億9,094万9千円、介護保険事業…6億4,469万3千円、生活保護支給事業…6億2,009万円、老人医療給付事業…6億853万6千円、児童手当事業…5億4,867万9千円、医療福祉事業…3億2,657万7千円、国民健康保険事業…3億2,601万6千円

衛生費▶清掃総務事業…6億718万9千円、保健衛生総務事業…4億7,623万3千円

教育費▶学校給食センター事業…3億1,197万4千円、中学校管理事業…1億5,793万1千円、小学校管理事業…1億4,720万3千円

農林水産費▶多面的機能支払交付金事業…1億5,923万7千円、霞ヶ浦用水事業…1億2,108万7千円

土木費▶公共交通事業…1億521万7千円

総務費▶情報管理事業…1億3,376万6千円

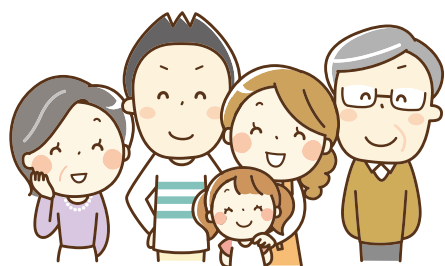
歳出

市民の皆さんのために使われるお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障がい者、児童などの福祉の充実を図るために使われます。続いて多いのが、道路や公園の建設・修繕などの土木費です。次に多いのが、企業誘致や財産管理、情報管理などの総務費。以下、環境保全、ごみ処理などに充てられる衛生費、教育費、公債費、農林水産業費、消防費などの順になっています。※()内は、構成比率

一般会計の歳出 (市民の皆さんのために使われるお金)

- ①民生費 58億383万6千円(31.5%)
社会福祉サービス、生活保護など
- ②土木費 29億442万7千円(15.8%)
道路や公園の建設や修繕など
- ③総務費 23億8,775万3千円(12.9%)
企業誘致、財産管理、情報管理など
- ④衛生費 19億7,504万7千円(10.7%)
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ⑤教育費 16億3,391万9千円(8.9%)
学校給食センター、市立学校など
- ⑥公債費 15億6,876万6千円(8.5%)
市の借入金の返済など
- ⑦農林水産業費 9億2,963万3千円(5.0%)
- ⑧消防費 8億5,517万円(4.6%)
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑨その他 3億8,144万9千円(2.1%)



一般会計の歳入 (市に入ってくるお金)

- ①地方交付税 49億円(26.6%)
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ②市税 46億5,072万6千円(25.2%)
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ③国庫支出金 27億1,444万1千円(14.7%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ④市債 17億8,280万円(9.7%)
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ⑤県支出金 16億9,302万4千円(9.2%)
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑥地方消費税交付金 8億9,017万6千円(4.8%)
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑦繰入金 3億9,502万円(2.2%)
- ⑧諸収入 3億9,339万1千円(2.1%)
学校給食費や高額療養費返納金などの収入
- ⑨繰越金 3億円(1.6%)
- ⑩その他 7億2,042万2千円(3.9%)

歳入

市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約27%を占めています。続いて多いのが市税で、市民税・固定資産税・軽自動車税などです。次に多いのが、国からの補助金である国庫支出金。以下、市債、県支出金、地方消費税交付金、繰入金などの順になっています。※()内は、構成比率

市の基本となる令和2年度当初予算が、令和2年第1回桜川市議会定例会で、可決・成立しました。
市財政の中心となる一般会計予算額は184億4,000万円で、国民健康保険特別会計など4つの特別会計と3つの事業会計を含めた予算総額では、317億3,626万5千円となり、前年度当初予算の合算額と対比して約0.5%の減となります。
今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせします。

令和2年度当初予算一覧

区 分	令和2年度予算
一 般 会 計	184億4,000万円
特 別 会 計	
国民健康保険	47億2,348万8千円
介護保険	42億6,490万6千円
介護サービス事業	885万3千円
後期高齢者医療	4億7,110万円
水道事業会計	12億7,417万1千円
病院事業会計	8億1,849万8千円
下水道事業会計	17億3,524万9千円
合 計	317億3,626万5千円